

資料4(別添様式)

番号	4	令和3年度公共事業事後評価調書			担当課名[農地整備課]	
事業名	経営体育成基盤整備事業			事業主体	静岡県	
箇所名	北郷北部			市町名	小山町	
事業概要						
事業の目的・必要性	<p>本地区の農地は、傾斜地および不整形で小規模なものが多く、農道や用排水路が整備されていないことから、営農資材の搬入や農作物の搬出及び水管理等は、主に人力作業であり、負担が大きかった。</p> <p>このため、区画整理や農道、用排水路等のほ場の基礎的条件を整備したことで、労力の節減を図るとともに、生産性の向上が図られた。</p>					
受益面積	57.4ha	採択年度	平成18年度	完了年度	当初	平成23年度
					実績	平成27年度
事業量	区画整理 面積47.9ha					
施設の利用状況や被害軽減効果 等						
前回	事業費 1,022百万円	事業期間 平成18年度～平成27年度	施設の利用状況や被害軽減効果 等		B/C : 1.01 EIRR : -	
事後	事業費 1,022百万円	事業期間 平成18年度～平成27年度	施設の利用状況や被害軽減効果 等		食料の安定供給の確保に関する効果 年総効果額：48,072千円	
差	事業費 — 百万円 (— %)	事業期間 計画どおり	施設の利用状況や被害軽減効果 等		食料の安定供給の確保に関する効果、農村の振興に関する効果 年総効果額：56,769千円	
<p>○事業費<事業費増高の理由></p> <p>—</p> <p>○施設の利用状況や被害軽減効果 等</p> <ul style="list-style-type: none"> 完了したほ場では、水管理や新設された農道による輸送や大区画化によって作業の簡素化、効率化が図られ、担い手農家への農地集積が進みつつある。 作物の単収変動増による。 						
事業の効果の発現状況						
<p><食料の安定供給の確保に関する効果></p> <ul style="list-style-type: none"> 用水路整備に伴う、水管理改良、乾田化及び湿潤かんがいにより、単収が増加した。 作物生産効果：(単収) 水 稲 489kg/10a → 504kg/10a (3%増) 水かけ菜 1,000kg/10a → 1,130kg/10a (13%増) 区画整理に伴う農業機械の利用効率の向上等により、農作業時間が短縮した。 営農経費節減効果：(労働時間) 水 稲 875時間/ha → 153時間/ha (83%減) 水かけ菜 755時間/ha → 377時間/ha (50%減) 						
事業により整備された施設の管理状況						
<ul style="list-style-type: none"> 造成された用水路等は、地元水利組合により適切に維持管理されている。 ふじのくに美農里プロジェクト活動組織である「上野美農里の会」「上野南部みのり会」が草刈りや簡単な補修・修繕を行っており、適切な維持管理を行っている。 						

事業実施による環境の変化

(1) 農業生産力の強化について

- ・ 用水路の整備により、用水不足の解消と計画的な水管理が可能となり、水稻の生産性が向上するとともに、裏作（水かけ菜）の生産が行われている。
- ・ 区画整理や用水路等の整備により、営農が効率化したことから、担い手農家の規模拡大が可能となり、集積面積が事業実施前4.9haからR元年度末現在16.1haとなった。
- ・ 本地域では、「お米日本一コンテストinしずおか」で県知事賞を10回受賞したブランド米「ごてんばこしひかり」を中心に栽培されている。
※ごてんばこしひかり：1,260円/2kg　こしひかり930円/2kg（市場調査結果）

(2) 農村生活環境の変化について

- ・ 「上野美農里の会」と「上野南部みのり会」が「豊かな里山を後世に残す活動」として、農道や水路等の保全を行っている他、活動を通じ、地域内や世代間の交流が深まっている。
- ・ 「上野美農里の会」は、近年鳥獣害の被害が多発していることから、地域の田畑を守るために電気柵の設置も行っている。
- ・ 「上野南部みのり会」は、畑地にコスモスの植栽やホタルの里づくりを行い、景観形成や生態系の保全活動も活発である。

社会経済情勢等の変化

(1) 地域社会の動向

- ・ 小山町の農家戸数は、平成17年の508戸から平成27年には441戸と13%の減となる一方、経営面積が3.0haを超える農家戸数は13戸から15戸へ増となっている。
（事業実施前：2005農林業センサス/現在：2015農林業センサス）

(2) 地域経済の動向

- ・ 小山町の農業生産額※は、平成26年の5.9億円から平成30年の6.6億円に約12%増加している。本地区で栽培している米と野菜は、それぞれ11%、14%の伸び率を示している。
（農業生産額：農林水産省「市町村別農業産出額」平成26年～）

対応方針（案）

(1) 評価結果

- ・ 効果は十分に発現されており、改善措置の必要はない。
- ・ 水田の区画整備により生産量、品質が向上するとともに、営農労力の節減が図られ、地区内及び周辺地域の担い手農家への農地集積、規模拡大が進み、農業産出額の増に寄与している。

(2) 今後の課題等

- ・ 農業者の減少と高齢化が予想される中で、地域の農業・農地を守り、発展するために、人・農地プランの作成を通じ、農地中間管理事業による担い手農家への農地集積を加速化する必要がある。

(3) 同種事業への反映等

- ・ 本地区は、中山間地域に位置する農地であるが、生産量や品質の向上と営農労力の節減を図り、地区内の担い手農家への農地集積が促進され、規模拡大が進んだ。

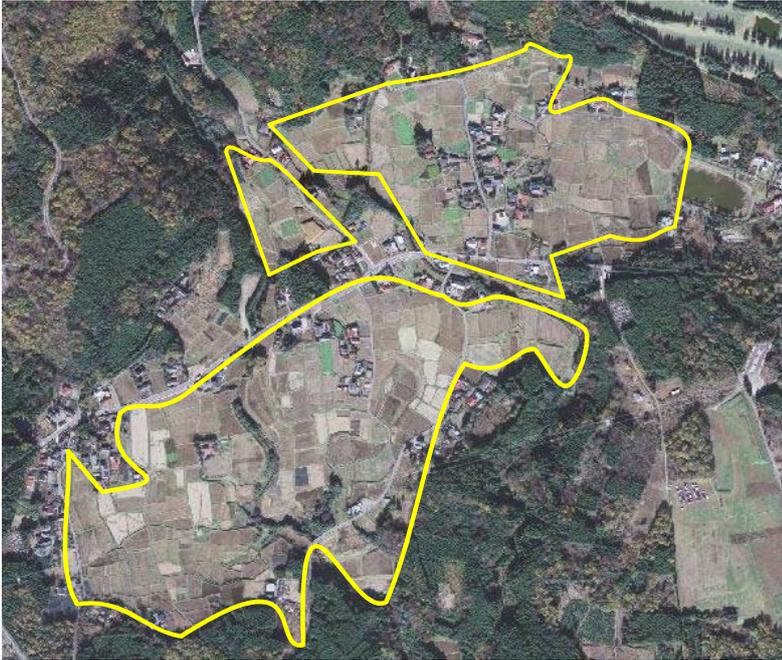
今後は、同様の中山間地域に位置する農地に対し、本地区をモデル地区として、水田の区画整備を推進するとともに、ほ場の大区画化や用水路（パイプライン化）及び暗渠排水の整備、更には水田ICT等の省力化技術を導入し、効率的で効果的な営農による農業生産性の向上を図っていく。

位置図

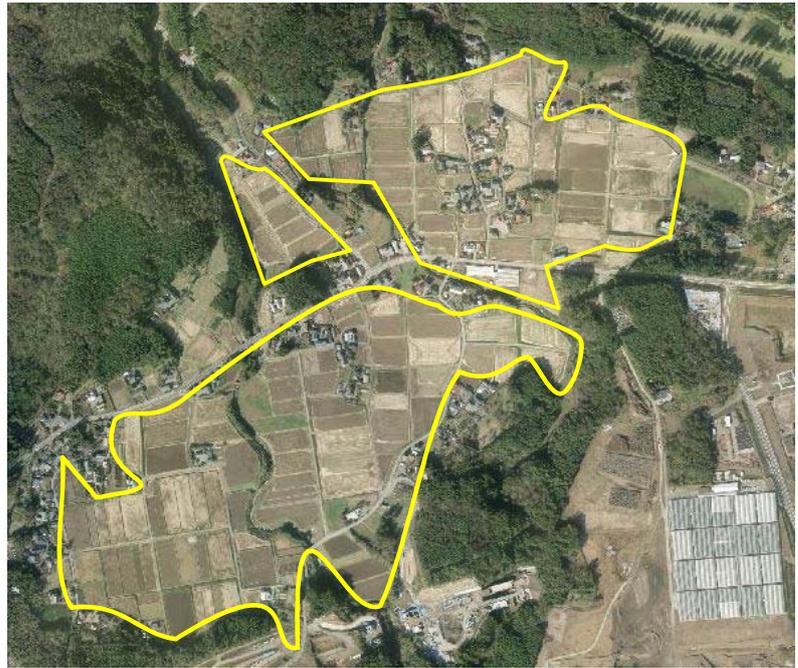
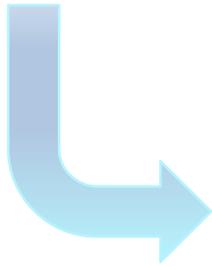


●事業効果の発現状況

<地区全景> 不整形で小区画な農地を区画整理し、道路や用排水路を整備



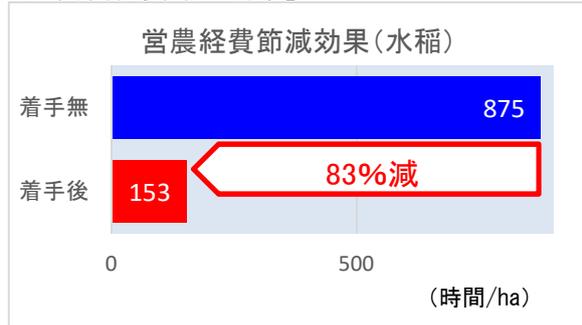
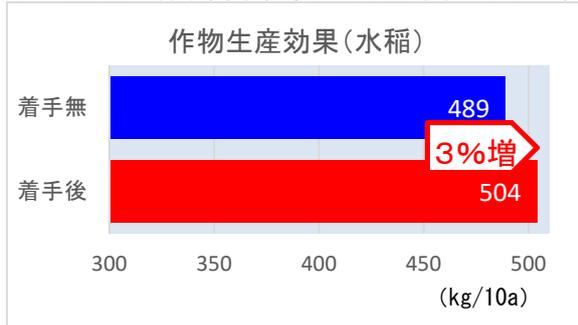
事業実施前



事業実施後

<食料の安定供給の確保に関する効果>

用水路整備に伴う、水管理改良、乾田化及び湿潤かんがいによる増収「作物生産効果」
区画整理に伴う農業機械の利用効率の向上等による「営農経費節減効果」



●事業実施による環境の変化

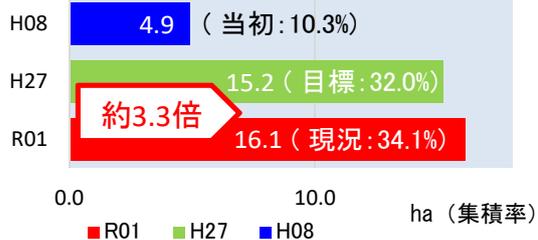
<農業生産力の強化>

営農が効率化したことから、経営体の規模拡大が可能となった



整形されたほ場：代掻きの様子

担い手農家の地区内経営面積



・地区内の担い手農家は5名から8名に増

<農村生活環境の変化について>

ふじのくに美農里プロジェクトの活動を通じ、地域内、世代間の交流が深まる



← 鳥獣害防止柵
設置の様子
(上野美農里の会)



→ 用水取水口の
点検・管理
の様子
(上野美農里の会)

●社会経済情勢等の変化

<地域社会の動向>



水かけ菜(裏作)の栽培状況

・小山町の農家戸数は、平成17年度の508戸から平成27年には441戸と13%の減となる一方、経営面積が3.0haを超える農家戸数は13戸から15戸へ増となっている。



水かけ菜漬



お米日本一コンテスト
H16～21,24,27,30、R1
計 10回

県知事賞受賞

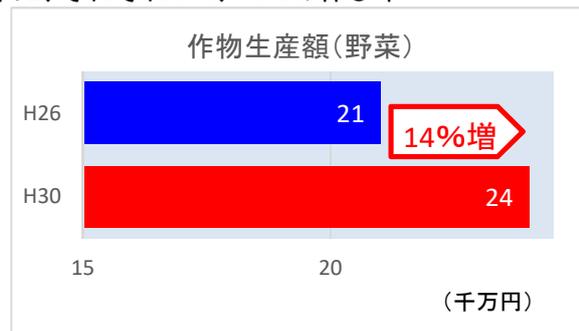
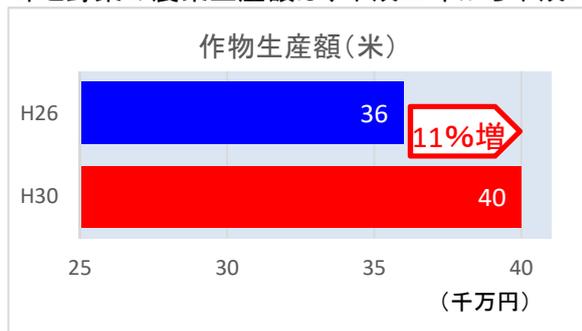
H27,30は
最高金賞もW受賞

ブランド米「ごてんばこしひかり」

●社会経済情勢等の変化

<地域経済の動向>

米と野菜の農業生産額は、平成26年から平成30年に、それぞれ11%、14%の伸び率



出典：農林水産省「市町村別農業算出額」

●その他

<整備前後の写真>



ほ場整備実施前(小区画)



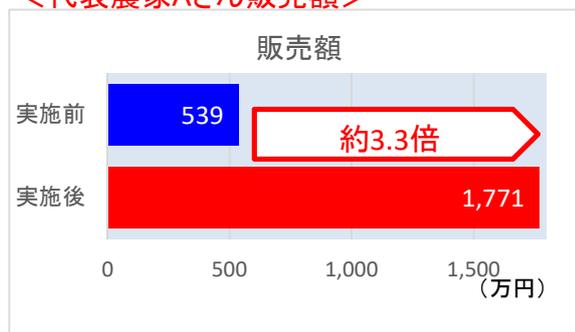
ほ場整備実施後(区画拡大)

<維持管理状況>



排水路法面の草刈りの様子

<代表農家Aさん販売額>



- ・ごてんばこしひかりを栽培
 - ・区画整理により作業効率向上、農作業時間短縮
- ※小山町役場聞き取り